

シリーズ

阿久比を歩く ⑦①



興昌寺の山門と行者堂

第七チエックポイントの「熊野神社」に立ち寄る。境内奥の小高い丘に酒造神「松尾皇太神」の石碑が立つ。かつてこの地から杜氏(とうじ)と呼ばれる酒造りの職人が、全国各地に出掛けて行った。杜氏たちはこの神社で美酒醸造を祈願したといわれる。

「最近飲み会に行くと、ビールよりも熱燗にした日本酒を飲むんだよね。」「だんだんと、おやし」になっ

てきましたね」と友人に言われたが返す言葉がない。人の声が騒がしい。第八チエックポイント「安楽寺」の山門前から長い人の列が続く。私鉄会社が「知多四国」を歩いて巡る企画を催し、今日は阿久比町にある「知多四国」を巡る日ようだ。「納経所」前から人の列が始まる。今年には知多四国霊場開創二百年の節目の年に当たり、記念の朱印を押してもらえらしい。

再び川沿いを歩き、第十チエックポイント「福住老人憩の家」の前を通り北へ向かう。二人の会話が途切れる。散歩をする犬と男性にすれ違う。その場を盛り上げようと私が「面白い話をするよ。さっきの犬、顔も白かったけど、しっぽも白かったよね。しっぽのと尾とも言うよね。」「尾も白いで『オモシロイ』。どう、面白い話だろ」と話し掛ける。「すごいおやしギヤグですな」とかわされた。体力づくりコースは先が長い。次号につづく。

知多四国巡りの参加者にまぎれて福山川沿いを歩き、第九チエックポイントの「興昌寺」に向かう。興昌寺の参道や境内も多くの人がごった返す。山門右の行者堂に知多四国八十八カ所霊場三開山の一人である福住出身の岡戸半蔵木像がまつられる。

あ
ぐ
い
ぶ
ら
り
旅

ふれあひマップを歩く(体力づくりコース) ②



酒造神「松尾皇太神」の石碑